

| | |
|--------|---|
| 研究課題番号 | S-18-4 |
| 研究課題名 | 国民の生活の質（QoL）とその基盤となるインフラ・地域産業への気候変動影響予測と適応策の検討と評価 |
| 研究実施期間 | 令和2年度～令和6年度 |
| 研究機関名 | 東京大学 |
| 研究代表者名 | 栗栖 聖 |

1. 委員の指摘及び提言概要

個々の自然環境要因の変化やインフラ脆弱性・環境影響低減技術の評価を示し、その地域の住人の意識に基づく QoL に集約する枠組構築は新しい研究分野である。幅広い分野で多くの成果が出ているが、最終的に QoL の評価に集約されるまでやり遂げて頂きたい。現時点では、適応策あるいは気候変動影響との関連を明確に示しているとは言いがたいので、個々の自然環境要因の変化やインフラの変化と将来の QoL を結びつけるモデル化を期待する。QoL やスキー場の変遷などその変化や内容などに複数の意味や原因があるものを一面的にとらえている部分があり、より多面的なとらえ方によって主要部が抽出できるようにして頂きたい。

2. 採点結果

評価ランク：A